

2 適正な栄養素(食物)の摂取するための行動の変容について【知識・態度・行動レベル】

指標		国	道	札幌圏	当別町
自分の適性体重を認識し、体重コントロールを実践する人の割合	男性(15歳以上)	90% 以上	-	-	-
	20歳代女性やせの者	90% 以上	-	-	-
適正体重を知ってる人の割合	男性	-	100%	100%	80% 以上
	女性	-	100%	100%	80% 以上
朝食を欠食する人の割合	小学生		-	-	2% 以下
	中学・高校生	0%	-	-	-
	中学生	-	-	-	3% 以下
	男性(20・30歳代)	15% 以下	-	-	-
	男性	-	4% 以下	6.7% 以下	15% 以下
	女性	-	2.4% 以下	7% 以下	4% 以下
質・量ともに、きちんとした食事をする人の割合	成人	70% 以上	-	-	-
外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にする人の割合	成人	-	14% 以上	23.9% 以上	-
適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合	成人	80% 以上	-	-	60% 以上
自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の割合	成人	80% 以上	-	-	-

3 適正な栄養素(食物)の摂取のための個人の行動変容に係わる環境づくりについて【環境レベル】

指標(国のみ)

\* ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進

給食、レストラン、食品売り場における、食生活改善のためのバランスのとれたメニューの提供

\* 学習の場の増加と参加者の促進

地域、職場において健康や栄養に関する情報を得られる場

\* 学習や活動の自主グループの増加

地域、職場において健康や栄養に関する学習や活動を自主的に取り組む住民、地域組織、企業など